

令和5年度第1回 独立行政法人農業者年金基金資金運用委員会 議事概要

1. 開催日時

令和5年6月14日（水） 13:55～15:10

2. 開催場所

独立行政法人農業者年金基金 一般会議室

3. 出席委員

- ・明田 雅昭 委員長
- ・小粥 泰樹 委員
- ・菅原 晴樹 委員
- ・徳島 勝幸 委員
- ・枇杷 高志 委員

4. 議事

- (1) 令和4年度運用結果について（報告）
- (2) 令和4年度運用業務等の評価について
- (3) バーベル型運用に代わる新たな投資戦略について
- (4) 政策アセットミックスの検証について

5. 概要

- (1) 令和4年度運用結果（報告）及び令和4年度運用業務等の評価について

令和4年度通期における各ポートフォリオの運用結果を報告の上、各ポートフォリオがベンチマーク並みの収益率をあげており、運用受託機関等の業務執行等においても問題がないことを事務局から説明し、了承された。

- (2) バーベル型運用に代わる新たな投資戦略について

バーベル型運用については、異次元緩和の長期化等に伴い弊害が生じた野村BPI総合に代わる暫定的な対応として、2018年4月から開始したところであるが、足許のパフォーマンス及び市場環境を踏まえ、野村BPI総合による運用への回帰について審議を行った。

この結果、野村BPI総合による運用に回帰する方向性については了承されたが、最終利回りがマイナスの債券に投資するかについては引き続き検討を行うこととなった。

- (3) 政策アセットミックスの検証について

検証に用いた為替レートの見通しが足許の水準から大きく乖離しており、為替へ

ッジあり外国債券に投資している基金の政策アセットミクスの検証においては、検証結果に影響を及ぼす可能性があることから、足許の為替水準及び市場環境を踏まえた経済見通しを用いて、再度審議を行うこととなった。

〔委員からの主な意見等〕

1. バーベル型運用に代わる新たな投資戦略について

(1) 次回の資金運用委員会における審議について

前回の資金運用委員会においては、最終利回りがマイナスの債券には投資しない運用とするよう委員から意見が出されたが、今般のシミュレーション結果は、最終利回りがマイナスの債券に投資した方が高いリターンが期待できる結果となっている。これらの差異について検証すべきではないか。

(2) 野村 BPI 総合による運用手法について

- ① 最終利回りがマイナスの債券に投資を行い、その債券からプラスのリターンを得られるかは今後の金融政策次第となる。敢えてそうした債券に投資を行うということは、受託者責任上、不適切な行動である可能性が高いのではないか。このため、最終利回りがプラスの債券にのみ投資すべきではないか。
- ② 野村 BPI 総合による運用開始時は、最終利回りがマイナスの債券には投資せず、当該債券のウェイト分のキャッシュを保有することとし、当該債券の最終利回りがプラスに転じたら、その都度投資することとしてはどうか。

2. 政策アセットミクスの検証について

検証に用いた為替レートの見通しについては、足許の為替水準から大きく乖離していることから、効率的フロンティアの導出に影響を及ぼしているのではないか。

(以上)